
めだかボックスのおはなし 3

キイナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

めだかボックスのおはなし3

【Nコード】

N3258Z

【作者名】

キイナ

【あらすじ】

みんなよりおとなびたおんなのこのおはなし。

『異常だし』(前書き)

1、2とは関係ない。

『異常だし』

「……………麦！……………小麦！！」

「ん……………？」

「演説、終わった」

「なんだ、不知火か……………」

小麦と呼ばれた少女が眼を擦った。

「会長、なんて言ってた……………？」

「なんか悩みがあったら相談しろってさ」

「ふーん……………」

小麦は、チラリと向こうの方を見た。

そして。

「あの会長さま………………。なんか弱っちいけど、大丈夫なのかな」

「あひゃひゃ！あんたからはそう見える？たいしたもんだよ！あんなホントに一年？あたしとは大違いだよ！！」

その通り、小麦はとて大人っぽく、少し金髪寄りの髪をしていることから、よく同級生に先輩と間違えられたのだ。

「そうかなあ………………。私は異常だし、普通の人とは違うしね……………」

「異常、ね」

不知火はニヤリと笑うとぽん、と小麦の肩を叩いた。

背が低く、いっばいっばいだっただが。

不知火はそのまま行ってしまった。

「ああ……。何怒ってるんだろ、不知火」

小麦は頭を書きながら、不知火が行ってしまった方向を見つめた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3258z/>

めだかボックスのおはなし3

2011年12月11日09時45分発行